令和7年第7回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和7年7月17日(木) 午後1時30分～午後2時35分

2 開催場所 春日井市役所9階 教育委員会室

3 出席者

【教育長】 児島 靖

【委員】 浅井 敦臣

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 向 文緒

【委員】 河合 香吏

【事務局】 教育部長

森本 邦博

いきがい創生部長

塚本 滋

教育総務課長

宮寄 英介

同 課長補佐

田之上 愛子

同 主査

砂田 恭平

同 主任

倉知 美香

学校教育課長

前原 敦

同 主幹

梶田 英男

同 主幹

梶田 傑

同 指導主事

湯浅 公

同 課長補佐

山崎 俊介

学校給食課長

加藤 純也

文化財課長

北野 将好

野外教育センター所長

神戸 明子

同 主幹

坂野 年伸

いきがい推進課長

大野 利重

図書館長

松田 健作

4 議題

(1) 令和7年度教育に関する事務の点検及び評価報告書(案)について

(2) 令和8年度使用小中学校教科用図書採択について

5 報告

(1) 令和7年第3回市議会定例会について

6 議事概要

教育長	本日の傍聴者は1名。
教育長	春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議録署名人は、浅井委員を指定。
教育長 (報告事項)	<p>名古屋市および横浜市の教職員が、児童の下着を盗撮し、それをSNSのグループ内で共有していたとして逮捕されるという極めて深刻な事件が報道された。子どもを守り育てる立場にある教職員による、決してあってはならない行為であり、教育に携わる者として断じて許されるものではない。このような事件は、児童生徒や保護者、地域の皆様に大きな不安と不信を与え、これまで築き上げてきた学校への信頼を著しく損なう結果となっている。日々真摯に子どもたちのために力を尽くしている大多数の学校関係者が、このような一部の不祥事によって信頼が失われていることは、本当に残念でならない。本市でも、児童生徒の安全と安心を守るため、各学校に対して、「個人スマホでの撮影禁止」「更衣室・トイレの点検」「撮影データの校外持ち出し禁止」などの徹底の指示をした。</p> <p>6月27日、第1回春日井市就学支援委員会を開催した。今年度の特別支援教育の状況は、「特別支援学級」が小学校37校139学級(前年+19学級)、児童数566名(+84名)、中学校15校53学級(+1学級)、生徒数201名(+16名)で、年々増加している。また、自立活動を指導する「通級指導教室」は、ここ数年増加傾向にあり、小中学校合わせて33校(+7校)で開設し、483名(+83名)の児童生徒が指導を受けている。</p> <p>7月2日に、小学生男鹿市交流学习の結団式を総合福祉センターで行った。この交流学习は、昭和62年に始まり、今年が37回目である。今年、小学校番号の奇数の学校18校18人が参加する。結団式では、春日井市の代表として参加する決意を代表児童が発表した。8月4日からの2泊3日の日程で男鹿市を訪問し、その成果を8月27日に報告会で発表する。</p>

第54回春日井市中学校体育大会は、6月1日のスポーレ春日井での陸上競技をスタートに始まった。愛日大会も6月22日の新体操からすでに始まっている。また、文化連盟の発表会は、吹奏楽・合唱・演劇・美術の各部門の発表会・作品展が20日から27日にかけて、英語スピーチコンテストが8月6日に文化フォーラム春日井で行われ、日頃の成果を発表する。

今年の夏も大変暑いことが予想されている。熱中症特別警戒アラートが出た場合の活動の中止はもちろん、暑さ指数が31を超えた場合の活動も中止の徹底をして子どもたちの安全を守っていく。小中学校は、明日18日が終業式で、44日間の長い夏休みに入る。

教育長

1 議題

- (1) 令和7年度教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）について

教育総務課長

資料に基づき「令和7年度教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）」について説明。

向委員

三島委員の意見で、84ページ(2)ICTを活用した教育の推進に、Wi-Fiルーターの貸し出しについて必要性を検討していただきたいと記載があるが、現状はどうか。

学校教育課主幹

生活支援家庭にはWi-Fiルーターを貸し出している家庭を除いて1万4千円が支給されている。

向委員

コロナ禍で授業自体がオンラインを活用しなければならなかったと思うが、今は主に学内での学習と宿題という形での家庭での学習をオンラインで行うことが義務付けられているのか。

学校教育課主幹

義務付けられてはいない。授業の資料はクラウド上にあるため、オンラインを利用すれば家庭で授業の内容を振り返ることができるし、宿題をオンラインで提出することもある。また、AIドリル教材であるキュビナを宿題で出している学校もあるし、中学校ではテスト前にキュビナを使って学習している生徒もいる。家庭でもフル活用できるように取り組んでいる。

向委員	教科書が薄くなってデータ化したところで、家庭でもそれを活用して勉強しなければならないという状況が今後も続くということか。QRコードを読み込んでデータにつながることで教科書が初めて見えるのであれば、端末を持ち帰らないと学習できないのか。
学校教育課主幹	自分が勉強したいときに勉強できるようにということで端末を持ち帰っている。 家庭にあるパソコンから入ることもできなくはないが、基本的には1人1台端末があるためそれを持ち帰って学びに活かしている。
向委員	1人1台端末となっているが、置いて帰ってもよいということか。
学校教育課主幹	絶対持ち帰らなければならないということではない。
河合委員	教科書に載っているQRコードはスマホでも見ることができるので、タブレット端末でなければならないということはない。
向委員	タブレット端末である必要はないが、Wi-Fi環境がないと見ることはできない。
学校教育課主幹	そのとおりである。
河合委員	20ページ「就学援助」にオンライン学習通信費の記載があるが、この金額で賄えるのか。
学校教育課主幹	オンライン学習にかかる費用ではなく、Wi-Fi環境にするための金額である。
向委員	年額か、それとも月額か。

学校教育課長	年額である。
向委員	1万4千円が上限額ということでしょうか。
学校教育課長	そのとおりである。モバイルWi-Fiルーターの貸与を受けている方は、貸与にかかる費用を上限としている。
河合委員	自分から申請しないともらえないのか。
学校教育課主幹	家庭にWi-Fi環境がない方は申し出てくださいとお知らせしている。
河合委員	学用品などもすべて申請が必要なのか。
学校教育課長	そのとおりである。入学時に紙とホーム&スクールでお知らせしている。
向委員	医療費について、準要保護者の家庭の児童生徒にかかった保険料の自己負担分を実費補助するということか。生活保護の方は医療扶助があるが、どちらで負担するのか。
学校教育課長	準要保護は、子ども医療があるため保護者の負担はありません。要保護の方は、生活保護の医療券を利用する機会が多いが、就学援助費での負担が優先となるため、医療券を利用した場合でも、就学援助費を申請するように通知している。
向委員	18ページ「語学指導」の取組の成果(1)に、「日本語教育が必要な児童生徒に、日本語教育講師を派遣して指導を行うことにより、言語だけでなく文化的な背景の違いによる学校生活の困難を解消できた」とあるが、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語を母語とする翻訳の方がいるということか。
学校教育課主幹	日本語教育講師がいるが、それぞれ対応できる言語が違う。このため、必要としている児童生徒の母語が堪能な講師が必ず対応できるわけではないが、個別に指導ができるので、対応できていると

	考える。
向委員	例えばポルトガル語をよく知っている方はポルトガルの文化的なことも比較的よくわかっているのので、そういう言語が母語の児童生徒には対応できたということか。
学校教育課主幹	対応できる言語が違う方であっても、日本語教育講師同士のコミュニケーションも取っているのので、対応できていると考える。
向委員	教育において、言葉だけの問題ではなく文化的な理解が必要な場面も多くある。英語等以外の言語の児童生徒もいて、学校教育や家庭教育の文化の違いがあると思うが、そういう児童生徒の文化的な背景を理解する取組はあるのか。
学校教育課主幹	そういう仕組みはないが、1対1で対応しているので、講師が児童生徒を理解するというところに頼っているのが現状である。
向委員	男鹿市との交流教育のように他の地域の文化に触れる事でお互いの理解や自分自身の理解を深めることができる。身近にいる異文化の方と交流することで相互理解が深まると良いと思う。
学校教育課主幹	国際交流学習も行っているのので、そういう中で活用できれば良いと思う。
浅井委員	86ページに記載のあるメタバースを活用したオンライン不登校支援は、どれぐらいの頻度で行われているのか。
学校教育課長	令和6年度から本格的に運用を開始しているが、現状では15アカウントしか利用ができない。伴走者であるメンターがオンラインで不登校の児童生徒とつながり、週に1回作戦会議として話をしている。15アカウントしかいないため待ち状態ができています。毎週作戦会議ができる児童生徒もいれば、全くできない児童生徒もいるのが現状である。中には、卒業式までに少し登校し、卒業式に出席することができた児童生徒もいる。

教育長	採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。
教育長	(2) 令和8年度使用小中学校教科用図書採択について
学校教育課主幹	資料に基づき「令和8年度使用小中学校教科用図書採択」について説明。
教育長	採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。
教育長	2 報告事項
	(1) 令和7年第3回市議会定例会について
教育総務課長	資料に基づき「令和7年第3回市議会定例会」について説明。
竹田委員	8ページ1(1)サマースクールについて、10校で定員550人となっているが、今年度は900人受け入れるということで、無理をしないか。
学校教育課長	1校55人ほどを定員としており、毎日利用者全員が出席するわけではなく、利用者の7～8割ほどが出席する形なので、当選者を多めにしても実際の利用者は日に55人程度ということである。また、スタッフも増員して対応している。年々当選者を増やしている。
竹田委員	900人当選だからといって、900人を定員とすることはできないということですね。
学校教育課長	毎日全員出席すると部屋が狭くなってしまいが、夏休みなので旅行に行くために欠席する児童もあり、見込みで当選人数を決定している。
竹田委員	開催期間はどれぐらいなのか。
学校教育課長	夏休み期間中だが、お盆期間の学校閉校日と出校日は休みである。

竹田委員	大体30日程度か。
学校教育課長	土日も休みなので、20日程度である。
竹田委員	(2)に記載があるように、現在の10校から増やすのは難しいのか。
学校教育課長	増やすために調整は行ったが、10校分の指導者とスタッフをやっと確保できたところであり、11校目は難しい。
竹田委員	スタッフは教員なのか。
学校教育課長	指導者は教員か保育士の免許を持っている方をお願いしている。スタッフはなかよし教室や子どもの家のスタッフ、臨時講師をされている方に声をかけている。
向委員	サマースクールは期間中概ね参加するという希望を募って当選者と落選者が決まるのか。必要度や希望の頻度も考慮するのか。週に2日だけでも参加したいという方もいると思うが、全か無なのか。
学校教育課長	全か無であり、優先順位は点数で決めている。就業している方は就労証明書を提出すれば加点される。また、病気の家族がいれば加点するなどしている。 10校の定員に達するまでは抽選なしで受かるが、定員に達した場合は、点数を付けて抽選を行う。同じ点数になった場合はコンピュータで抽選している。
向委員	平時から必要な人は子どもの家に通っているのか。
学校教育課長	そのとおりである。サマースクールに申し込むのはなかよし教室の利用者が多い。
向委員	8ページにギャンブル依存症対策についてあるが、薬物依存の予防や啓発は何か行っているのか。

学校教育課主幹	保健の授業や養護教諭の授業でも取り扱うが、講師に来てもらって授業を行っている学校もある。
向委員	薬物依存の授業の延長線上で、ギャンブル依存についても教育できないのか。
学校教育課主幹	ギャンブル依存については、子どもたちの間でそこまで浸透していないが、スマホで誘導されてしまうなど世間では話題になっており、今後は予防・啓発の授業が必要になってくると思う。
向委員	ゲーム依存も子どもたちにとって身近であるが、ICT教育や情報リテラシーの教育の中でギャンブル依存についても教育することができるのではないかと思う。
学校教育課主幹	情報活用能力を育成する中で情報モラル教育も取り入れており、そういう中で取り扱っていく内容になると思う。
向委員	Wi-Fiルーターも貸し出しており、子どもたちが接することが可能な環境になってきてリスクも高いのであれば、ギャンブル依存に特化した講話でなくとも、他のリテラシーの教育の中で触れることができると予防になると思う。
学校教育課主幹	情報モラル教育に特化しているわけではなく、どんな危険性があるか考えながら行うため、その中で自然に触れることになるのではないかと思う。
向委員	10ページ5給食の時間について、給食の時間は45分を1単位としている学校が多いが、低学年のうちはスピードが追い付かないのではないか。低学年は授業の時間数も高学年より少ないので、給食の時間を延ばすことはできないのか。
学校教育課主幹	低学年は児童によって食べるスピードが違ってくる。会食の時間をしっかり確保できるよう、準備を手際よく行うようにしている。

向委員	1 単位45分にこだわらず、給食の時間を延ばすことはできないのか。
学校教育課主幹	給食の時間を延ばすと、高学年が時間を持て余してしまう。
向委員	職員会議等の時間もあり学年によって時間をずらすことは難しいと思うが、低学年は早めに授業が終わるため、遊ぶ時間を後ろにずらすなどどこかで調整できないのか。
学校教育課主幹	配送車の時間は決まっており、そこまでに片付けをしなければならない。同じ時間帯で動かないと不都合が多く難しいところがある。
向委員	低学年のうちは保護者からの意見も多いところだと思う。
学校教育課長	集中して食べるもぐもぐタイムを設ける、食べられる量を最初に調整する、時間を意識させるためにタイマーを使用し教員が声をかけるなど、時間内に食べられるよう各校さまざまな工夫をしている。
河合委員	食べきれなかった給食の持ち帰りはしないですね。
学校教育課主幹	そのとおりである。
教育部長	令和7年度一般会計補正予算について1点補足する。体育館空調機の設置については、当初は令和10年度までに完了としていたが、国の交付金なども活用することにより令和8年度までに終わる予定である。
	○参考資料について

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和7年8月20日

教育長 児島 靖

署名人 浅井 敦臣